

令和5年度第61回高教研教科別集会（商業部会） 研究協議ワークシート
テーマ 『指導と評価の一体化をめざした授業づくり』

1 観点別学習状況の評価についての現状、課題、及び工夫について

- ※見取る場面（授業の中で見取る場面を設定しているか、
授業中における挙手・発言の回数や、ノートの取り方、課題提出回数など「形式的な活動」を見取っていないか等）
- ※複数担当者間での打合せ（極端な偏りがないか等）

（1） 知識・技術

（2） 思考・判断・表現

（3） 主体的に学習に取り組む態度

- ※2つの側面から見取ることができているか等

①粘り強い取組を行おうとしている側面

②粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

2 評価をもとにした指導内容の変更・改善について

※見取る場面、協働する機会、発表・共有する機会の設定の工夫等

※記録を担当してくださった方は、恐れ入りますが1/19(金)までに
記録内容を以下のGoogle Formから報告してください。



<https://forms.gle/E2ZeUxDeUCiqTs3C8>